

夢 ～未来へ

渋谷区立渋谷本町学園
第9学年 学年通信 30号
令和3年12月18日(土)

夢をつかむために・・・

寒さが身に染みるようになってきました。私の母の実家がある長野県飯山市から雪の知らせがありました。本格的な冬の到来を感じました。雪には、雪明り、雪化粧、雪の華・・・と寒い中にも風情のある言葉が多いです。ただ「雪^{はずかし}辱^{はずかし}」だけは、“雪の辱^{はずかし}め？”と不思議に思っていました。正しくは「辱^{はずかし}めや恥^{はじ}を雪^{すす}ぐ (= 除き払う)」の意味だそうです。「一面の銀世界」と言えば聞こえはいいですが、豪雪地で生まれた私の母にとって“雪の壁”は、物心への制限を感じさせる「悩みの種」だったとよく話してくれました。生まれつき足に障害があるのでなおさらだったと思います。

数年前に、その「悩みの種」である厄介ものを“克服できないものか”と考え、さらには、“何かに利用できないか、生かせないか”と思案し、研究し、その努力が雪冷房システムに実用化につながったという方の記事を読みました。

困難の壁を破るーそのためには前進を阻む“壁”が存在しないといけません。壁とは何か。「壁」には「夢」との意味もあるそうです。そうすると、避けがちな壁は、見方を変えれば夢、願望ともなります。壁を乗り越えるということは、夢をつかむために必要な過程であり、希望への一歩前進なのだと捉えることができます。

今、壁にぶち当たっている9年生が多いのではないのでしょうか。「よし！来たな！」と初めから立ち向かえる人はなかなかいません。しかし、それを、夢や願望と見方を変えて、立ち向かっていく勇気をぜひもってください。応援しています。

9年B組担任 古谷 香代子

Check 渋谷本町学園での最後の生徒総会でした

12月15日(水)生徒総会が行われました。学園の運営の中心が8年生にバトンタッチされ、9年生はアドバイザー役としての参加になりました。そして、これが渋谷本町学園で経験する最後の生徒総会でした。学園を更に良くしたいという思いから、各委員会に要望や質問が出され、これからの活動に生かされます。

現在、生活委員会による「クリスマスオンタイムコンテスト(チャイムのときに授業の用意をして着席しているか)」、環境委員会による「美化コンテスト(終学活の後に教室がきれいか)」、給食委員会による「残飯グラフ」の取り組みなど、学校を良くしようと様々な取り組みがなされています。委員会に所属している9年生も頑張っており、呼びかけしながら率先して取り組んでいます。



チャイム着席ができると、各クラスのクリスマスツリーにシールを張ることができます。



Check 都立高等学校の入学願書・受検票の作成が始まりました

12月13日(月)に下書きを始めました。ペンで清書し、写真を貼り、受検料(2200円)を振り込んだ領収証書を裏に貼り、保護者の方の署名が必要になります。都立の推薦者は、水色の進路用封筒に入れての提出を12月24日(金)までをお願いします。また、入試のために1日登校しないときは、出席停止になります。それ以外の入試にまつわる手続きで遅刻や早退のときには、遅刻や早退になりません。その場合、担任への事前連絡をお願いします。

☆来週の予定☆

日付	学校行事など	その他
20日(月)		
21日(火)		
22日(水)	C時程	
23日(木)		
24日(金)	B時程 4時間授業 4時間目大掃除 給食なし	全校朝礼・ブロック朝礼 下校時刻 12:15

